

## 令和4年度 第1回企画・調査部会においていただいた委員意見

### ○資料 3-3 健康とくらしの調査の神戸問 6 について

学習活動がどこにも入っていないので、選択肢 4. それ以外の趣味に入れても良いのではないか。

### ○実態調査案は大変丁寧に作成されており、全体としての調査案には賛同する。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 1 (4)「家族構成」選択肢の「4. 息子・娘との2世帯」、「5. その他(3世帯)」について、少しわかりづらさを感じる。

4 には、「結婚して世帯をもつ息子夫婦や 娘夫婦との同居」だけでなく、「未婚の子との同居」は含まれるのか、あるいは含まれないのであれば、「未婚の子との同居」世帯は夫婦のみでもないため、「その他」を選択することになるのか。

「5. その他」に含まれる 3 世帯については、3 世代ではなく、3 世帯というケースを考えているものと思うので、高齢者夫婦に加えて、娘世帯、孫世帯などの同居が想定されるように思う。

回答者の立場に立つと、「うちはどのケースにあてはまるんだろう？」と混同する可能性もある。また、ケース数を考えると、「未婚の子との同居世帯」という項目を作るほうが回答は多くなるように思う。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 45「主たる介護者の性別」について

対象者が特定されている場合には、性別を問う質問には、「3. その他」を選択肢に入れてはどうか。

### ○資料 3-2 健康と暮らしの調査について、修正が必要と思われる箇所が下記 3 か所あった。

- ・ p 9 の質問の位置がずれている
- ・ VerA の問 18 (4) の「～」が赤字のままになっている
- ・ VerD の問 18 (4) 仮にという表現が必要ではないか。

例)「もしも失った歯を 1 本元通りにできるとすれば、あなたはいくら支払いますか？」

### ○資料 3-1 概要について、施設調査の特定施設・サービス付き高齢者向け住宅ですが、住宅型有料老人ホームは対象にならないのか。

### ○有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅以外の高齢者住宅在住の要介護者の調査は「在宅高齢者実態調査」になるのか。

### ○資料 3-3 健康とくらしの調査の神戸問 1 (4) の前に、資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 17「(7) あなたご自身は、認知症に関して心配ごとがありますか」のような前提の問があった方が良いのではないかと。いきなり認知症に関する心配事の相談先を問われても、健康な高齢者には違和感があると思う。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 1 (4) の家族構成だが、「同居」家族の構成のことか。そうならば、「その他」の項目で「具体的に」と聞いた方が良いのではないかと。「三世帯」とあるのも同居前提のことではないのか。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 2 の選択肢 7～14 に挙げられている施設等は専門的な種別である。選択肢 7～14 に住んでいるなら、在宅高齢者実態調査の調査対象外ではないか。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 17 (1) (2) の「家族」は同居家族が前提なのか。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 45 の主たる介護者の性別が「1. 男性」と「2. 女性」だけになっているが、ここにも「3. その他」を入れた方が良いのではないかと。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 47 以下とも関係するが、主たる介護者が要介護者と同居ないし近居するため転居したかを質問しないのか。そのことと離職や転職が関係するかと考える。

### ○資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 9 (2) について

- 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士、それぞれ違う技術のため、それぞれに設問を分けるべきではないか。
- 資料 3-5 施設調査の問 6 (1) (2) (3) について  
言語聴覚士を加えるべきではないか。
  - その他、介護保険とは関係ないが、障害者の投票支援、災害時の避難支援について、ご配慮願いたい。
  - 資料 3-3 健康とくらしの調査の神戸問 1 (3) について  
「(○は 1 つ)」を体裁上、設問の後ろに移動させてはどうか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 1 で性別「3. その他」を入れるのであれば、問 45 にも「3. その他」を入れるべきではないか。資料 3-1 概要では「要介護認定を受けている 65 歳以上の男女」が調査対象なので、性別「3. その他」が必要かどうか要検討すべきではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 1 (2) について  
選択肢 7. イの北須磨区域には丁目まで記載されているが、問 1 (3) で丁目を記載するので、問 1 (2) では丁目の記載は不要ではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 1 (5) 等について  
「子ども (息子・娘)」とあるが、問 44 では「子」に修正されている。ここ以外にも「子ども」の記載があるが、全体をとおして統一したほうがよいのではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 5・6 等について「要支援 1・要支援 2」に限った設問が混在しているが、限らずに全員に聞いてもいいのではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 9 (3) について  
選択肢 2. カテーテルは「尿路カテーテル」とか、もう少し丁寧に記載してはどうか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 11 (3) について  
修正はこれでいいと思うが、入れ歯利用を問う設問がなくなるが問題ないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 15 について  
選択肢 3 の「他人」は無くても良いのではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 25 (4) について  
選択肢 3 は「健康講和」⇒「健康講話」の間違いではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 27 について  
選択肢 3 は「分からない」⇒「わからない」に統一してはどうか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査のタイトル 4 について  
「住まいことに」⇒「住まいのことに」の間違いではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 37 について  
選択肢 8 は「分からない」⇒「わからない」に統一してはどうか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 40 (1) について  
「知る」の表記がなぜ「知っていた」と過去形なのか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 41(2) について  
「しています。」⇒「していますか。」の間違いではないか。
  - 今後の高齢者施策の参考資料となる実態調査内容として、適切だと考えます。
  - 資料 3-3 健康とくらしの調査の神戸問 1 (4) 13. について  
心配ごとはあるが、誰にも相談していないという趣旨であれば、「心配していない」の項目が必要ではないか。
  - 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の問 38 について

問 46 にあるように「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の項目があってもよいのではないか。

- 「神戸市内にコロナウイルス発生後、身体的、精神的に変化が感じられたか」という趣旨の質問も、今後の施策を進める上では調査意義があるのではないか。
- 資料 3-4 在宅高齢者実態調査の調査票について、質問項目が多岐に亘っており、質問数が多く、有効回答率の低下が懸念されます。アンケートの分析内容に対する項目を精査して、簡略化してはどうか。